

試作開発部門における複合加工部品の 短納期化と小ロット化の実現

品質が向上し製品の受注増にも対応 取引先の要求に高いレベルで応える



**高精度の特殊ステンレス部品を製造
取り引き先の95%が関東圏**

【経営理念】

Honesty(誠実)

ステンレス部品の切削加工を行う株式会社コウダイは、1977年に安来市で仲西鉄工所として創業し、農業機械の部品などの生産を始めた。当初は多様な金属を扱っていたが、94年からはステンレスに絞り、同時に有限会社化。2015年には現在の場所に新工場を竣工、本社・工場を移転し、株式会社となった。主に工業用ポンプや医療機器、農業散布機器などに使用する、高精度の特殊な部品を得意としており、製造は月に約200種類、合計10万個にものぼる。取引先の95%は県外の企業で、そのほとんどが関東圏の企業になっている。

約10年前から従業員の世代交代が始まり、若手を採用すると同時に機械設備を取り入れ、効率化を進めてきた。その流れに沿って、今回のものづくり補助事業で、CNC複合旋盤を導入した。



**製造期間が短縮、安定生産も可能に
若手の教育面でも大きなプラス**

これまでは自動旋盤を利用していたため、製造に一定の時間がかかり、製品のサイズなど制約も大きく、複雑なものを作ることが難しかった。そのため、社内の試作開発部門から、小ロットでも製作でき、製造期間を短縮できる設備の導入を、強く望む声があった。

CNC複合旋盤の導入で、これまでより段取りの作業が減り、製造期間の短縮につながることがわかった。選べる工具の種類も増え、作業上の制約が減ったため、独自の複雑な製品を作ることも簡単に。さらに、製品のばらつきが減って不良率が20%から5%へと大きく改善し、安定した生産が可能になった。

その結果、多品種・少量でも短期間で製作できるため、新製品などの試作が容易になり、設計開発の業務の強化につながった。製品の受注増にも対応でき、品質も向上するなど、取引先の要求に、高いレベルで応えることが可能になった。

さらに、導入した機械は安全性の高さも特徴で、タッチパネルで操作もし

同社工場で
製造される製品例



- 1 今回導入したCNC複合旋盤
- 2 CNC複合旋盤の導入で短納期・小ロット化に対応が可能に
- 3 タッチパネル式のため操作もしやすい

やすいため、経験の浅い従業員も積極的に取り組みやすくなった。社員の世代交代が進む中、ベテランの従業員から若手への技術の継承が大きな課題となっていたが、経験の少なさを最先端の機能で補うことができ、若手の教育面でも大きなプラスになった。



**地元から仕入れ、県外へ販売
地域の発展にも貢献を**

同社ではこれまでも、顧客の要求に答える形で人や機械を増やし、結果として業績を伸ばしてきた。強みである難削材の加工技術に、最新の機械設備を組み合わせることで、さらに付加価値が高く、性能の良い製品を作ることを目指している。また、県内の企業とも手を結び、さまざまなことに挑戦したいという。

地域貢献の観点から、材料はできるだけ県内の企業から仕入れ、主に県外の企業に販売することで、地域の発展につなげたいという思いがある。地元出身の従業員が多いが、東京の取引先などは県内とは違った常識やルールで動いているところもある。「そういう取引先とふれ合うことも成長につながる」と、開かれた姿勢を大切にしている。

働き方改革にも積極的に取り組んでおり、残業はほとんどない状態。「従業員にはプライベートも大切にしたい」と、効率を上げることで作業時間の長さを抑えている。

Company Data

(株)コウダイ



松江市東出雲町の本社・工場

代表者名：仲西 大
設立年月日：昭和52年2月
資本金：3,000千円
従業員数：6名
業種：はん用機械器具製造業
売上：78百万円
住所：〒699-0109
島根県松江市東出雲町錦浜583-16
電話：0852-67-3350
FAX：0852-67-3551
URL：<https://koudai.jp/>
メール：info@koudai.jp